

みなさんからのおすすめ本紹介

(図書室だより 令和7年 梅雨号 より)

『あつかったら めげばいい』(ヨシタケ シンスケ著) Y.M

絵本は『小さなこどもの読み物』ではなく、高校生のみなさんや、大人だって楽しめる本ですね。

私はその中でもヨシタケ シンスケという方の絵本がお気に入りです。

ちょっと笑えたり、へえ～と感じたり、ホッと気持ちが落ち着いたりする絵本をたくさん描かれています。

その中の一冊『あつかったら めげばいい』という絵本は特に、環境が変わってちょっとソワソワしがちな今の季節におすすめしたい絵本です。

『ヘトヘトにつかれたら』『ふとっちゃったら』『だれもわかってくれなかったら』…そんな様々な疑問に、ユーモアとあたたかな気持ちを持って答えてくれます。

ぜひ『あつかったら めげばいい』を読んで、心を緩めてみてください。

『異世界に救世主として喚ばれましたが、アラサーには無理なので、 ひっそりブックカフェ始めました』(和泉杏花/近江谷著) M.Y

「私に世界は救えません！アラサー女子のツキナは『神』と自称する球体により、異世界へ喚ばれてしまった。『神』は何でも願いを叶える事を引き替えに、『救世主』として異世界に安定をもたらすよう言うんだけど…。」

“ みんなだったら何と引き替えて転生する？ ”

私だったらやっぱりあの〇〇〇〇〇かな…笑。

転生系のお話が好きな人、カフェなどのお話が好きな人、ちょっと今の生活が嫌だなあ、と感じている人にオススメの本です。私は、小説で読みましたが、コミック本もあるみたいなので「小説読むのはちょっと…」と思う人でも読みやすいかな、と思います。ぜひ読んでみてね！

『神様たちのお伊勢参り』(竹村 優希著) M.Y

私のオススメする本は「神様たちのお伊勢参り」シリーズです。

主人公の谷原芽衣(めい)は、彼氏も職も失い伊勢神宮に神頼みにやってきた。しかし財布を盗まれ、追いかけている間に山に迷い込み、不思議な青年・天に出会う。色々あって天の経営する『やおよろず』で働くことになったが『やおよろず』は、お伊勢参りにやってきた全国の神様たちが宿泊する不思議な宿だった!?ハラハラドキドキが止まらない、芽衣と天と神様たちの物語。一冊読んだらハマること間違いなし！ぜひ一度読んでみてね！

(このシリーズは1～12巻まであり完結しています。11・12巻目は感動のシーンが…私はこの11・12巻目が特に好きかも。)